

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】①チームで目標や学習方法を考え、自分の成長を振り返る

学習計画		作戦Fig			
だいたいの目安の時間	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目
チームの学習目標	「自分とチームの課題を見つけよう！」	「目的に合った練習方法を知ろう！」	「目的に合った練習方法を知ろう！」	「チームの課題に応じた練習をして課題を解決しよう！」	「チームの課題に応じた練習をして課題を解決しよう！」
0-5分	学習の見直しをもつ	学習目標の確認・W-up	学習目標の確認・W-up	学習目標の確認・W-up	学習目標の確認・W-up
5-15分	練習方法を知る ①ドリブル8の字2周 ②シュート練習3種類 ③対面パス、三角形パス ④対人練習	練習方法を知る ①ドリブル8の字2周 ②シュート練習3種類 ③対面パス、三角形パス ④戦術練習	5分練習 ゲーム(4分×3)	①シュート練習 ②パス練習	①シュート練習 ②パス練習
15-35分	1対1、2対2、2対1、3対1、3対2	バスアンドラン、スクリーン、ピックアンドロール	チェックリスト・目標設定・練習計画	ゲーム(4分×3)	ゲーム(4分×3)
35-45分	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り

チームの目標

チームの評価基準 (A : これができたら最高)

自分たちが相手のゴールまでのパスやシュー

A

自分たちが相手のゴールまでのパスやシュートを守って得点を1レース

チームの学び方を表現するシート

チームの振り返り			自分は試合で何をもっと上手くしたいか?・・・バスケットを積極的に行う 何をもっと改善すべきか?・・・シュートの成功率を上げる。(攻めを強くする。)	今回は2試合行った。どちらも同点または勝つことができた。練習で行ったドリブル・シュートの練習が試合にいかせていて良かった。また、各々が空間に入り込んでパスを貰うことができた。もっとチーム全体のシュート
	A/パスを貰って一発でゴールを決める B/パスまたはゴールを阻止する	今回は、シュートする練習と、相手を抜いてシュートまで行く練習をした。相手を抜くことができる技はできたけど、いざ相手と対戦したときにそう一瞬でそれをやるのは難しかった。次は、対戦でもそれができるようにしたい。	試合をした。二試合とも同点だった。相手のバスケットができなかったから、次はバスケットができるようになりたい。	一回戦目は同点だったけど、二試合目は勝てた。次は二回戦とも勝てるように、シュートやチームプレイなどをうなくしていきたい。
	A・的確に味方にパスを送って、ゴールを決める B・ゴールを阻止して、パスを送る	今回は練習で、レイアップがすごく上達した。自分はボールがゴールを通り過ぎてしまうことがあったので、あまりボールを投げない事を意識したらうまくできた。まだ敵を巻くドリブルができないので、次回の2V2の練習ではドリブルを中心に練習をしたい。	今回は練習をした後、試合を2試合行った。試合では初めてゴールを決めることができたが、あまりバスケットや敵につくことができなかった。次の試合では、敵をマークして行ける場面は、ゴールを積極的に狙っていき、遠くからのシュートが決められるようになりたい。また、自分の弱みは敵にマークされると	今回は試合で2得点決めることができた。パスもカットできて、マークもできた。過去一で良い試合だった。ただ、ゴール近くなのにレイアップができなかったのが物体なかったなと思った。また試合でレイアップを決めたことがないので、次の試合から積極的にレイアップを狙っていきたい。

個々の学びを振り返るシート

中学1年体育

「バスケットボール」の授業の学びの様子である。チームで単元の進め方や各時の目標を考えて練習やゲームにのぞむ構成になっている。一方で、一人一人にゴール型ゲームにのぞむ際の「空間」についての見方・考え方を担当教員が示すことで、一人一人がどのようなことができるようになったかを自覚することができるようにもしている。チームの成長と個の成長を行ったり来たりしながら振り返りを記入する生徒の様子を確認することができる。教員は生徒の記述から次なる手立ての工夫を考え、実践に反映させるようにしている。